

子育ての喜び、悩みを共有したい

母親たちが情報紙を創刊

子育て中の県内の母親たちが「記者」となり、育児の喜びや悩みを発信する全国情報紙「月刊お母さん業界新聞」の地域版を創刊した。母親の視点に立ち、地域情報を共有することで「子育てしやすい社会にしたい」とのべを執った。

(石田剛)

お母さん業界新聞 地域版

同新聞は、全国の母親 これまで佐賀では地域たちでつくるネットワー版がなかったが、7月にク組織「お母さん大学」佐賀市であった全国版のが2008年に創刊。約 藤本裕子編集長の講演会350人の「お母さん記」に参加した母親たちが者」が、全国版や地域版「子育て中の今だからこの編集に携わっている。を伝えることがある」と



創刊した「月刊お母さん業界新聞」の地域版を手にする母親たち
＝佐賀市役所

佐賀、嬉野、みやき版 全国版と共に毎月無料配布

創刊を決意。佐賀市、嬉野市、みやき町に住む29、39歳の8人が1人1紙ずつ制作し、1日から各居住地の周辺地域で無料配布を始めた。

地域版はB4判1枚2ページですべて手書き。育児への思いをつづったエッセー、お薦めの本、子どもの絵などが載った温かみあふれる作りだ。

「インターネットとは違う顔の見えるつながりを広げたい」と8人の代表で佐賀市高木瀬西の山下千登さん(36)は話す。

今後は参加の輪を広げ、地域版の数を増やすとともに、ひとり親世帯や障害児のいる家庭など多様な母親の情報発信を目標という。山下さんは「育児の不安や悩みを一人で抱え込んでいる母親は多い。新聞で共感してもらえれば虐待や不登校の解決にもつながるのでは」と期待を込める。

新聞は毎月1日、全国版と一緒に小児科やスーパーなど県内約20カ所で配布。問い合わせは山下さん0952(30)4960。